

銅山川地区地すべり防止工事見学会の開催

— 治山事業による安全・安心の取組 —

山形森林管理署 最上支署

治山事業による安全・安心の取組として、国有林が実施している「民有林直轄地すべり防止工事」を広くPRし、より一層理解を深めていただくことを目的に見学会を開催しました。

平成25年6月14日（金）、地元の大蔵小学校6年生31名（当日2名欠席）を対象に、支署及び共同企業体の職員が地すべり発生メ

カニズムや防止工事の内容等を説明した後、地すべりにより発生した滑落崖やトンネル排水工等の工事箇所を見学しました。

当日は気温が高く、トンネル内の低い気温と外に出てからの気温差に体調を崩す児童もいたため、



ジオラマでメカニズムを説明

意見発表の時間を省略し、最後は記念撮影のみとしましたが、初めて見る現場に「自分の住んでいる地域でこんな大規模の工事が行われていてびっくりした」などの声が聞かれました。

治山事業による安全・安心を理解していただくためにも、機会ある毎にPRを実施していく必要性を強く感じたところであり、今後もこの見学会を継続して実施する考えです。

意見発表の時間を省略し、最後は記念撮影のみとしましたが、初めて見る現場に「自分の住んでいる地域でこ

んな大規模の工事が行われていてびっくりした」などの声が聞かれました。

治山事業



トンネル内を見学



全員での記念撮影

滑落崖を見学

